

学校教育高度化・効果検証センター 研究紀要 執筆要項  
2018年12月改訂

1. 本研究紀要掲載の論文等の内容は、学校教育の高度化に関係するものとする。
2. 掲載する論文等は未発表のものに限る。
3. 論文等の使用言語は日本語または英語とする。
4. 本研究紀要が掲載する論文等の原稿枚数は下記のとおりとする。ただし、依頼論文など、編集委員会がとくに指定したものについては、この限りではない。

(1) 研究論文（日本語）	20枚以内
(2) 研究論文（英語）	5,000words
(3) ワーキングペーパー（日本語）	15枚以内
(4) ワーキングペーパー（英語）	3,500words

上記の枚数・語数には、本文の他、タイトル、注記（Notes）、参考文献（References）、図表等を含み、付録（Appendix）は含まないものとする。

5. 本研究紀要に論文を執筆できる者は、センタープロジェクトに従事している本学教員と大学院学生および協力研究員（「東京大学教育学研究科附属学校教育高度化・効果検証センターの組織と運営に関する申し合わせ」参照）とする。センタープロジェクトに従事している他大学大学院学生は、協力研究員が第一著者となっている場合に第二執筆者以下として執筆することができる。
6. 研究論文およびワーキングペーパー（日本語）のフォーマットは以下のとおりとする。
  - ・ 用紙は B5 版縦とし、余白は上下 25.4mm、左右 19mm に設定する。
  - ・ 本文のフォントサイズは 9 ポイントで、2 段組み、21 字×35 行で作成する。
  - ・ フォントは、日本語は MS 明朝、英語は Times New Roman を使用する。
  - ・ 1 ページ目には、題目（日本語）、執筆者名（日本語）、題目（英語）、執筆者名（英語）、Author's (Authors) Note の順に 1 段組みで記載すること。
  - 題目（日本語）は、フォントサイズを主題は 14 ポイント、副題は 12 ポイントにし、フォントを MS ゴシックにする。
  - 題目（英語）は、フォントサイズを主題は 12 ポイント、副題は 10.5 ポイントにする。
  - 執筆者名（日本語）は 9 ポイント、執筆者名（英語）は 10 ポイントとする。
  - 題目（日本語）、題目（英語）、執筆者名（英語）は中央揃え、執筆者名（日本語）は

右揃えにする。

- ・ 2 ページ目には、要旨（英語）（150-250 words 程度）、キーワード（英語）を 5 語以内で記載する。1 段組みで、48 文字×35 行に設定する。
  - “Keywords”の小見出しはイタリック体で記載する。
  - ・ 3 ページ目には、題目（MS ゴシック・中央揃え・12 ポイント）、副題目（MS ゴシック・中央揃え・9 ポイント）を中央揃え・1 段組みで記載してから一行あけて、本文（2 段組み）を始める。
  - ・ 本文には適宜、小見出しをつける。章・節・項の表記は、1,2,3・・・、1.1,1.2,1.3・・・、1.1.1,1.1.2,1.1.3・・・とする。
  - ・ 章、節、項などの小見出しは、フォントは MS ゴシック・9 ポイント、中央揃えにする（冒頭の英数字はすべて半角）。
  - ・ 句読点は、「,」と「。」に統一する。
  - ・ 本文中の英数字は半角を用いる。
  - ・ 図表については、図 1・表 1 などのように表記し、通し番号をつける。なお、図表番号は、図の場合は下、表の場合は上につけ、フォントは MS ゴシック・9 ポイントにする。
  - ・ 図や表に関して転記する場合には、著者の責任において原著者、著作権をもつ出版社などに許可を得ること。
  - ・ 注はページ脚注とせず、本文の該当箇所に上付きで<sup>(1)(2)</sup>...などと表記し、原稿末にまとめて列記する。
  - ・ 原稿末の注は引用文献より前に記載する。注番号は上付きにせず、（1）、（2）のように表記する。
  - ・ 引用文献はページ脚注とせず、原稿末にまとめて列記する。
  - ・ 参考文献の書き方については、原則 APA スタイルを参照し、以下のとおりとする。  
単行本（编者あり）：著者（発行年）「題目」编者名『書名』出版社、頁。  
雑誌論文：著者（発行年）「題目」『雑誌名』巻号、頁。  
学会発表等：発表者（発表年）「題目」第 X 回 X 学会（場所、日にち）発表  
URL：題目[http://xxx]（accessed on Month Date, Year）
  - ・ 原稿末の「注」「引用文献」の小見出しのフォントは MS ゴシック・9 ポイントにし、左揃えにする。
7. 研究論文およびワーキングペーパー（英語）のフォーマットは以下のとおりとする。具体例はサンプルを参照すること。
- ・ 用紙は B5 版縦とし、余白は上下 25.4mm、左右 19mm に設定する。
  - ・ 本文のフォントサイズは 9 ポイントで、2 段組み、21 字×35 行で作成する。
  - ・ シングルスペースで、フォントは Times New Roman にする。

- ・ 1 ページ目には、タイトル、執筆者名、Author's(Authors') Note の順に 1 段組みで記載すること。
- ・ タイトルは 14 ポイント、サブタイトルは 12 ポイントとし、ともに中央揃えにする。
- ・ 執筆者名（英語）は 10 ポイントとする。
- ・ 題目（英語）、執筆者名（英語）は中央揃えにする。
- ・ 2 ページ目には、要旨（150-250 words 程度）、キーワードを 5 語以内で記載する。1 段組みで、48 文字×35 行に設定する。
- “Keywords”の小見出しはイタリック体で記載する。
- ・ 3 ページ目には、タイトル（14 ポイント）・副タイトル（12 ポイント）（Times New Roman・中央揃え）を 1 段組み・中央揃えで記載してから 1 行あけて本文（2 段組み）を始める。
- ・ 本文には適宜、小見出しをつける。章・節・項の表記は、1,2,3・・・、1.1,1.2,1.3・・・、1.1.1,1.1.2,1.1.3・・・とする。
- ・ 章、節、項などの小見出しは中央揃えにする。
- 図表については、Table1・Figure1 などのように表記し、通し番号をつける。なお、図表番号は、Table・Figure とともに上につける。
- 図や表に関して転記する場合には、著者の責任において原著者、著作権をもつ出版社などに許可を得ること。
- 注はページ脚注とせず、本文の該当箇所に上付きで(1)(2)...などと表記し、原稿末にまとめて列記する。
- ・ 原稿末の Notes は References より前に記載する。番号は上付きにせず、（1）、（2）のように表記する。
- ・ 原稿末の”Notes”、”References”の小見出しは左揃えにする。
- ・ References の書き方は原則、APA スタイルを参照する。

## 8. お願い：東京大学学術機関リポジトリ登録について

- ・ 提出された論文につきましては、「東京大学学術機関リポジトリ（UTokyo Repository）に原則、掲載されることとなりますのであらかじめご了承ください。研究紀要掲載論文・ワーキングペーパー電子的公開許諾書に必要事項をご記入の上、原稿とあわせてご提出ください。掲載を希望されない場合は学校教育高度化・効果検証センターまでご連絡願います。

\*「東京大学学術機関リポジトリ（UTokyo Repository）」とは、東京大学で生産された、さまざまな研究成果（紀要等）を電子的な形態で集中的に蓄積・保存し、学内外に公開することを目的としたインターネット上の発信拠点のことです。

URL：<https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>

9. 執筆希望者は、学校教育高度化・効果検証センターに原稿（電子ファイル）と「研究紀要掲載論文・ワーキングペーパー電子的公開許諾書」を提出する。

問い合わせ先：

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院教育学研究科附属

学校教育高度化・効果検証センター

TEL/FAX : 03-5841-1749/1818

e-mail : c-kodoka@p.u-tokyo.ac.jp